

適正施設ガイドライン

【ウシモツゴ *Pseudorasbora pugnax*】

2020年9月

公益社団法人日本動物園水族館協会

1 飼育環境

1-1 水温

外気温に準じる形で飼育は可能。

- 1) 未成魚・成魚
室温飼育 (6~30℃)
- 2) 仔稚魚
室温飼育 (20~28℃)

1-2 振動・光

日照、気温、水温等の概日・概年リズムが阻害されないような配慮が必要。特に、小型水槽で飼育する場合は、日間での温度変化が著しい場所は望ましくない。

1-3 照明 (日照、人工照明、照明時間長)

照明時間は夏と冬で自然日長にあわせるとよい。照明は自然光、人工照明 (蛍灯、LED 灯のどちらでも可) のどちらでも良いが、自然日長および自然な水温変化の方が繁殖 (成熟) には適している。

1-4 水槽サイズ (面積、容積)

大型コンテナ (100×65×52cm、容量 300ℓ) またはアクリル水槽 (75×45×45cm 水槽、容量 180ℓ) で 10 尾程度が理想である。また水温、水質の安定を考えると水槽の面積だけでなく、深さ (水量) も確保すること。

1-5 構造、設備、水槽の数

- 1) 未成魚・成魚
水槽の質に南国砂などの細砂を用いる (底面濾過材との兼用可)。隠れ家として、直径 10cm 程度の土管や直径 3~5cm の塩化ビニールパイプ、沈木、水草などを植える。ろ過は底面式で充分である。
- 2) 卵・仔稚魚
45×24×30cm 程度の小型水槽または樹脂性大型水槽 (170×78×38cm、容量 500ℓ) などを複数設置することで飼育可能

1-6 飼育水 (水質)

河川水や井戸水または水道水の汲み置きを使用すること



写真1 成魚飼育・繁殖水槽



写真2 成魚飼育水槽



写真3 稚魚育成水槽